

平成 26 年度 伊勢市環境会議第 5 回会議 議事録

編集・発行 伊勢市環境会議事務局（伊勢市環境課）

2014 年 8 月号

会議の内容

と き 平成 26 年 8 月 11 日（月）
19:00～20:30
ところ 伊勢市役所東庁舎 防災スペース
～テーマ～ 「これからの活動について
話し合しましょう」



1. 活動報告について

(1) 7 月 1 日（火）～7 月 31 日（木） 百五銀行伊勢支店 ロビー展示

- ・百五銀行さんも協力していただき、とても良い展示になった。
- ・銀行の待ち時間などに見ていただき、活動を知っていただけたと思う。
- ・今後もこのような機会を活かし、情報提供していきたい。
- ・片付けは 10 分程度で終わった。

(2) 7 月 1 日（火）～7 月 25 日（金） 新規会員の募集

- ・興味を持っていただいた方はいたが、応募者はいなかった。
- ・会員を増やし、若い方も取り入れながらこれからも活動を続けていきたい。
- ・こちらからも声かけをしないとなかなか入っていただけない。
- ・環境活動されている企業や、老人会、皇學館大学など声かけしたい。

(3) 7 月 23 日（水） エコクッキング教室

- ・いせ毎日で記事にさせていただいた。
- ・参加者から好評であった。
- ・こちらから声をかけないとなかなか人が集まらなかったため、周知の仕方を考えなければならない。

(4) 7 月 28 日（月） 平成 26 年度河川愛護月間の表彰

- ・永年にわたる活動が評価され、七夕大そうじ連絡協議会が表彰された。
- ・今回は 2 団体が表彰を受けた。
- ・参加人数など実施状況を報告し、激励いただいた。
- ・広報いせの 9 月 15 日号に記事が掲載予定です。

(5) 7 月 31 日（木） 勢田川浄化実験看板の花植え

- ・白石をひき、前より植える面積を減らした。
- ・築地公園から水を汲み、水遣りをしていたが、その様子を見ていた南勢設備さんのご好意で水を使わせていただけることになりました。
- ・日々の活動を見ていただけていることがわかり、うれしい出来事です。
- ・水遣りは伊勢市女性団体連絡協議会でやってくださっています。

(6) 8月3日(日) 子どもわくわく体験フェスティバル

- ・参加者 250 名程度。
- ・他のブースと比べて雰囲気が寂しかった。内容は良かったと思う。
- ・親が知らないと敬遠するイメージがあった。
- ・スタンプラリーに加えてもらったので参加してもらえた。
- ・子どもには台が高かった。
- ・フェスティバルには遊びの目的で来ており、自分たちは学んでもらいたいという目的があり、方向性の違いを感じた。

(7) 8月5日(火) 水生生物による水質調査

- ・宮川ではきれいな川に生息する生物が、横輪川ではとてもきれいな川に生息する生物が採集された。
- ・参加者は少なかったが、来ていただいた方には満足していただき、保護者の方から感謝のお手紙もいただいた。
- ・国土交通省でも同様の事業を同様の時期に開催しているため、今回はそちらに参加され、参加者が少なかったのかもしれない。今後、できれば連携して行うことも考えたい。

(8) 8月2日(土) 勢田川を天の川に ～第12回 キャンドルナイト伊勢～

- ・天気が不安だったが、無事雨も降らずに終わった。
- ・倉田山中学校の生徒がボランティアで大人に混じって一生懸命やってくれていた。
- ・今後様々なところで美しさをアピールしていければよいと思う。
- ・ホテル関係へ周知すれば観光客にも足を運んでいただけるかもしれない。
- ・次の日に食べ物のトレーなどのごみが多いように感じた。

2. 当面の活動について

(1) ごみゼロポスターコンクール参加賞について

- ・100円～200円の「ピットスライド(テープのり)」、「スケッチブック」、「修正テープ」の中から検討した。
- ・修正テープについて子どもたちはよくわからずに使うためやめた方がいいということになった。
- ・検討の結果「ピットスライド(テープのり)」に決定した。

(2) 環境フェア

日時：10月13日(月・祝) 10:00～15:00

場所：三重県営サンアリーナ

- ・ごみ分別クイズについては保育所の出前講座で行ったように体験型にしたほうが身につけやすいという意見があり、これまでの形態と2パターン用意するようにしました。
- ・牛乳パックでブーメラン作りはゴミをリユースする一方で、リサイクルできるものをゴミにしてしまうことにもなるため、検討し今回は出展を見送ることとした。
- ・牛乳パックでブーメラン作りに代わるブースを検討しましたが、時間中に良い意見が出なかったため、各自検討し事務局へ報告し、8月20日までに決まらなければ昨年より1ブース少ないアクリルたわしづくり・ごみ分別クイズ・環境標語の募集の3ブースにすることとしました。
- ・昨年と同じブースを各自担当していただくこととしました。

(3) 平成 27 年度実施事業について

- ・平成 27 年度の事業についての予算を盛り込むために、事業の見直し、または新規事業などについて市の予算編成までに事業の検討をしなければならないため、各自来年度の事業について考えてきていただくようお願いした。次回今年度の事業の振り返りを行う。